

駅開業120周年記念植樹

わだい②

11月3日、JR舟形駅周辺で同駅開業120周年記念行事が開催され、すずのがけ湧水の保全活動などを行う「自然のみどりと水に親しむ会（会長 伊藤清紀さん）」主催のもと、小野昭一JR新庄駅長、森町長、その他協力団体や町のみなさん約50名が参加しました。

記念植樹ではナラ6本と桜2本がすずのがけ湧水周辺に植えられました。同湧水は里の名水やまがた百選にも選ばれており、絶滅危惧種のイバラトミヨなどの発見が確認されています。



3年ぶりの東京友の会開催

わだい③

11月5日、東京都内で第30回「舟形町東京友の会総会・舟形町民まつり」が開催され、約100名が参加しました。舟形町東京友の会は、会員同士の親睦と町の繁栄を目的として、町出身者や縁故者で町外に居住するみなさんにより組織される会です。

町からは町長はじめ八楯町議会議長の他9名が参加し、会場は舟形町の思い出話や互いの近況報告などにより終始和やかな雰囲気に包まれました。最後は全員で唱歌「故郷」を歌い来年の再開を約束しました。



縄文太鼓親子教室発表会

わだい④

11月6日、舟形小学校児童11名と保護者4名で「縄文太鼓」の発表会が中央公民館で開催されました。縄文太鼓の親子教室は、親子が一緒になって9月から17回の練習を行い、猿羽根太鼓の伝統に触れながら、太鼓の技能を磨きました。

参加した児童からは「発表会で上手に演奏できて良かった」や保護者から「子どもと一緒に楽しく参加できて良かった」などの感想があり、来年度も参加したいと意気込みもありました。



受章おめでとうございます

わだい①

秋の叙勲「瑞宝双光章」

伊藤 和昭 さん（舟形第1）

昭和38年舟形町に奉職し、税務課長、農林課長等を歴任し、平成4年5月に舟形町収入役に、平成8年から7年9ヵ月に永きにわたり舟形町助役として活躍され、その功績が認められての受章となりました。また、平成16年2月、舟形町長に当選し、1期4年在職し、さまざまな分野において卓越した識見と指導力のもと斬新な発想による行政手法をもって、山積する行政課題を解決へと導き、町政の健全な発展と円滑な運営に尽力されました。



秋の褒章「緑綬褒章」

沼澤 紀美子 さん（舟形第3）

平成4年に舟形町食生活改善推進協議会に奉職し、平成12年から山形県食生活改善推進協議会理事、また平成26年度から4期8年の永きにわたり会長として活躍され、その功績が認められての受章となりました。減塩と野菜摂取の啓発を中心に、県民の食生活の改善に向けた活動を展開、組織の育成強化や活動の拡大に貢献し、住民の健康増進に寄与するため尽力されました。現在も食生活改善推進委員として活動し、食を通じた町民の健康づくりに取り組んでいます。



11/4 舟形小学校4年生
舟形町歴史民俗資料館見学



▶舟形小学校の4年生が歴史民俗資料館を見学し、町の文化について学びました。

11/4 小國隆さん（木友）
文部科学大臣表彰、
（一社）全国社会教育委員連合表彰



▶長年にわたり社会教育振興に尽力された功績に対して表彰されました。

10/29 舟形中学校
舟友祭



▶新型コロナウイルス感染症の影響で一部縮小して開催されました。

10/27 舟形町老人クラブ連合会
グラウンドゴルフ大会



▶秋晴れの中、51名がグラウンドゴルフを楽しみました。

10/22 舟形町総合防災訓練
地域の予防消防のため



▶コロナ禍のため消防団のみ参加し、万が一に備え地域の防災を確認しました。

10/17 舟形町読み聞かせグループ
「わ+（プラス）」
全国視聴覚教材コンクール入選



▶縄文の女神をテーマにした知育教材が社会教育部門で入選しました。

知事と若者の地域創生ミーティング in 舟形



【参加者のみなさん】

上段左から 泉洋之総合支庁長、阿部真(長沢第1)、吉田達也(舟形第3)、東海林孝平(洲崎)、加藤陽介(富田第2)
下段左から 伊藤佳奈(幅)、片山珠里(舟形第3)、吉村美栄子県知事、森富広町長、高山陽子(堀内)、沼澤飛鳥(舟形第4)
(敬称略)

吉 村美栄子県知事が、10月31日に舟形町を訪れ、「知事と若者の地域創生ミーティング in 舟形」が福祉避難所「てとて」で開催されました。これは、県知事と地域の若者たちが車座になって対話を行い、これからの地域創生を考えることを目的に実施されたものです。当日は町内から8名が参加し、それぞれの仕事や地域で行なっている活動などの視点からさまざまな意見が出されました。

自 営業、会社員、農家、高校生など様々な立場で活動されている参加者のみなさん。みなさんからは「今ある資源や町の魅力を維持しながら、住んでいる人が自分らしくいきいきと生活できる環境づくりのお手伝いをしたい」「若い世代が舟形にいたいと思える仕組みを考え、子どもたちが住みやすい地域にするための活動をしていきたい」「作業の省略化をすすめ、農業の拡大をしていきたい。農業の魅力を若い世代に伝えたい」「女性農業者が活躍しやすい環境づくりをすすめたい」「地元の祭りやイベントの開催を行って。気兼ねなく参加できる雰囲気づくりとつながりを大切にし、若い世代の定住の役に立てれば」「国宝縄文の女神が出土した町だと自信を持って言えるように」といった意見が出されました。



【ミーティングの様子】

意 見交換の中で知事は「そこに住んでいる人の可能性は無限大。山形県には魅力がたくさんあるので、誇りをもって住み続けられるように、いろいろな仲間を増やし、これらもみんなで協力していこう。みなさんがその地域をどうしたいか、多岐にわたる考えを聞いた。これからみんなの声を上げてほしい」と話されました。

▼問い合わせ／まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104



十人十色、キラリと輝く最上の女性たち

わだい⑤

11月6日、最上広域交流センターゆめりあで「誰もが主役・輝く最上のひとづくりシンポジウム」が開催されました。これは、男女共同参画社会の実現に向け女性活躍を推進するため、最上8市町村と県が連携して開催したもので、約30名が参加しました。舟形町からは金寛美さんがパネリストとして登場。これまでの活動の苦労や今にいたるきっかけとなった出会いや出来事などを話しました。参加者は今後の活動のヒントを得たのではないのでしょうか。

除雪安全祈願祭

わだい⑥

11月8日、十二河原河川公園で町道の除雪作業の安全と事故防止を願う除雪安全祈願祭を行いました。大型のロータリ除雪車や除雪ドーザなど合わせて15台がずらりと並ぶ中、各工区の運転手、現場管理者の(株)伊藤組と(有)門脇産業、機械整備関係者を代表して寒河江重車輻(株)、(株)新庄いすゞサービス工場、町関係者ら合わせて36名が参列し、安全を祈願しました。今年度も冬の舟形町の安全安心な交通の確保をよろしくお願いします。



IT地域活性連絡協議会

わだい⑦

11月15日、IT地域活性連絡協議会がリングロー(株)(代表取締役 礎敏之さん)本社で開催されました。これは、おかえり集学校プロジェクト関連の市町村が会員となり、地域の特性を生かしたIT事業等を情報共有することを目的としたものです。

今回は設立の会として、北海道から九州までの17自治体に参加。今後の連携とさらなる可能性の創出を確認しました。また、文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」の講演やeスポーツ体験も行われました。



11/9 福祉避難所「てとて」あそびの広場



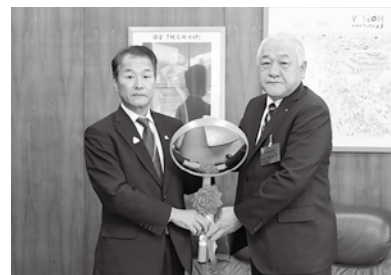
▶長沢集学校と共催し、スマホアプリを使い親子で楽しみました。

11/9 舟形中学校2年生 八鍬惺空さん(野)セーブメディア週間



▶テレビやゲームの時間を減らし、家族との時間を増やすことを防災無線で呼びかけました。

11/7 カーブミラー4基の寄贈 交通事故の防止のため



▶もがみ中央農協・JA共済連山形県本部から寄贈されました。